

記入者 所属・氏名

資源点検表(調査日:令和〇年〇月〇日)

経営体名	(農)〇〇 〇年設立		設立時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			和暦	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
			西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
役職		氏名											
1	ヒト												
2	(年齢)												
3													
4													
5													
6	※オペ												
7	現役年												
8	齢75才												
9	まで												
10													
11													
オペ等労力合計			人										
オペ減少率(R7基準)			%										
トチ	利用権設定	比較的条件の良い場所	ha										
(面積)	作業受託												
	作業委託												
	所有												
	その他												
	経営面積計												
モノ・品目			ha	○品種○ha、□品種◇ha、■品種△ha、◆品種▲ha									
(面積)			ha										
			ha										
	作付面積計		ha										
モノ・資産		規格	購入年	台数									
(年数)													
カネ	総収入			万円									
	経常利益			万円									
	集落還元額			万円									
	労務費			万円									
	強化準備金累計額			万円									

課題(危機)の整理

(農)〇〇

	課題(危機)の内容	課題の程度・重み			課題解決に向けた役割分担		
		重要度	優先度	難易度	構成員	法人役員	関係機関
ヒト							
トチ							
モノ							
カネ							
他							

※ ○は当方でチェックしたもの

課題解決(危機回避)のためのロードマップ

【中期計画】

	解決・改善後のすがた	目標	1年目(〇〇年)	2年目(〇〇年)	3年目(〇〇年)	4年目(〇〇年)
ヒト						
トチ						
モノ						
カネ						
他						

記入例

資源点検表(調査日:令和〇年〇月〇日)

経営体名	(農)A		設立時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	H25年設立			和暦	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
				西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
	役職	氏名												
1	ヒト	代表理事(オベ)	ア	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	
2	(年齢)	理事(オベ)	イ	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	
3		理事(オベ)	ウ	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	
4	※オベ	理事(オベ)	エ	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	
5	現役年	補助	オ	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	
6	齢75才	補助	カ	68	67	68	69	70	71	72	73	74	75	
7	まで1人	総務経理(女性)	キ	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	
8	役、補助													
9	80才ま													
		で0.5人												
		役												
オベ等労力合計(人)				5	5	4.5	4	3.5	3.5	3	2.5	2	1.5	
オベ減少率(R7基準)				0	0	10%	20%	30%	25%	40%	50%	60%	70%	
トチ	利用権設定	比較的条件の良い場所	ha	25										
(面積)	作業受託													
	作業委託													
	所有													
	その他													
	経営面積計													
モノ・品目	水稻		ha	15	コシヒカリ3ha、ひとめぼれ4ha、きぬむすめ4ha、ヒノヒカリ4ha									
(面積)	小麦		ha	8										
	大豆		ha	8										
	飼料用米		ha	2										
	作付面積計		ha	33										
モノ・資産		規格	購入年	台数										
(年数)	トラクター①	34ps	H28	1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	トラクター②	34ps	H29	1	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	田植機①	4条植	H28	1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	田植機②	6条植	H29	1	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
実働稼働限度年	米麦コンバイン①	4条刈	H28	1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	米麦コンバイン②	5条刈	H30	1	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	大豆コンバイン		H29	1	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	乗用管理機		H28	1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	播種機			1										
	畔塗機			1										
	乾燥機			4										
	粃すり機			1										
	フォークリフト			1										
	フロントローダー			1										
	ライムソー	古い		1										
カネ	総収入		万円	2500										
	経常利益		万円	500										
	集落還元額		万円	350										
	強化準備金累計額		万円	1000										

連合体法人機械の借用?

課題(危機)の整理

(農)〇〇

	課題(危機)の内容	課題の程度・重み			課題解決に向けた役割分担		
		重要度	優先度	難易度	構成員	法人役員	関係機関
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇理事の妻が経理を担当し司令塔役。 現状のオペは11名。5年後に半減が予想される。 当面はできそうなのでやれるところまでやる。7年経ったら面積は半分になると予想。 →現状の関係を維持するとともに、新たな担い手を確保する取組が必要。 〇〇法人、〇〇法人、〇〇法人と仲が良く、農作業支援のお願いをしている。 	○		○	○		
トチ	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇地区の一番奥(JA〇〇支所から7km奥)に位置し、立地が悪い。 ほ場面積は1枚10~20a程度 長方形でないものが多い。 斜面が多く草刈りがネック。草刈りは法人が実施しており、地主は何もしない。 一時期キャベツに取り組んだがサルの被害にあってやめた。 現在も、水稲、麦もサルにやられている。 →守るべき農地の選別が必要か。 大型トラックが入れる道路は通っている。 →近隣の法人から機械の持ち込みは十分対応可能。 	○		○	○		○
モノ	<ul style="list-style-type: none"> トラクター2台、田植え機2台、コンバイン3台あるが古いものばかり。R4にトラクター(中山間直支活用)、R5にコンバイン(法人負担)を購入予定。 必要により〇〇法人、〇〇法人に機械借入れのお願いをしている。 →近隣の法人と連携した機械整備が必要 	○					○
カネ	<ul style="list-style-type: none"> カネについて、収益は求めていない。求められない。景観は素晴らしく、米も美味しいと自負している。地域の農地を守るためにどうにかこうにかやっている状態。 H30年の総収入は2500万円、経常利益460万円、集落還元額は麦の助成金150万円程度、労務費は基本〇。ほ場ごとに担当を割り当て、それぞれの生産物で清算 法人は黒字となっているが、実態は理事のボランティアで成り立っている。農地・水の助成を受けている。少額(3千円程度?)ではあるが法人に入るメリット。 美味しいコメの販路開拓 高収益作物導入検討 	○		○			○
他	<ul style="list-style-type: none"> 最近、いもち病、うんかが増えてきた。カメムシは昔から多い。農薬散布量が増えてきた。無人ヘリで散布(ほぼ適期に実施) 						

※ ○は当方でチェックしたもの

課題解決(危機回避)のためのロードマップ

【中期計画】

	解決・改善後のすがた	目標	1年目(〇〇年)	2年目(〇〇年)	3年目(〇〇年)	4年目(〇〇年)
ヒト	近隣法人との連携による担い手の確保(例:連合体を立ち上げ年収300万円程度で1人雇用できるしくみづくり)					
トチ	守るべき農地の選定					
モノ	連合体で機械は整備					
カネ	高収益作物導入					
他						